令和７年度　決算報告

問い合わせ　経営企画課　企画政策係（☎内線535）
財政係（☎内線502）

決算のポイント！

- ●実質収支 …… 約11億2千万円の黒字
- ●財政分析 …… 健全性を維持
- ●基金（貯金）残高 …… 5年連続で増加
- ●市債（借金）残高 …… 8年連続で減少

※表の数値は、四捨五入の関係上合計が合わないことがあります。

会計別決算状況

一般会計

一般会計の実質収支は、約11.2億円の黒字でした。

年　　度	①歳入総額	②歳出総額	③差引額（①-②）	④翌年度繰越	実質収支額（③-④）
令和７年度	357億4,176万円	343億　163万円	14億4,013万円	3億1,915万円	11億2,098万円
令和６年度	336億3,488万円	318億7,415万円	17億6,072万円	1億5,246万円	16億　826万円

特別会計

すべての会計で黒字決算となりました。

会　計　名		①歳入総額	②歳出総額	③差引額（①-②）	④翌年度繰越	実質収支額（③-④）
国民健康保険事業		63億9,234万円	63億8,937万円	296万円	-	296万円
後期高齢者医療		17億5,473万円	17億　435万円	5,038万円	-	5,038万円
介護保険事業	保険事業勘定	63億9,924万円	63億4,733万円	5,191万円	-	5,191万円
	介護サービス事業勘定	6,871万円	6,871万円	-	-	-
住宅新築資金等貸付事業		217万円	102万円	114万円	-	114万円
筑紫地区障害支援区分等審査会事業		3,717万円	3,717万円	-	-	-
筑紫地区介護認定審査会事業		1億1,428万円	1億1,428万円	-	-	-

企業会計

水道事業・下水道事業ともに健全な経営を維持しています。

水道事業会計

収益的収支　（消費税抜き）

収　入	13億6,687万円
支　出	13億1,587万円
純利益	5,100万円

純利益は資本的収支の不足分を補うための財源としています。

資本的収支　（消費税込み）

収　入	2億4,968万円
支　出	6億2,443万円

資本的収支で生じる不足額は損益勘定留保資金などで補填しました。

下水道事業会計

収益的収支　（消費税抜き）

収　入	17億1,482万円
支　出	13億7,369万円
純利益	3億4,113万円

資本的収支　（消費税込み）

収　入	1億8,733万円
支　出	9億8,474万円

普通会計の歳入・歳出
（一般会計・住宅新築資金等貸付事業・筑紫地区障害支援区分等審査会事業）

歳入

歳入全体としては357.7億円で、前年度に比べて21.3億円（6.3％）の増額となりました。

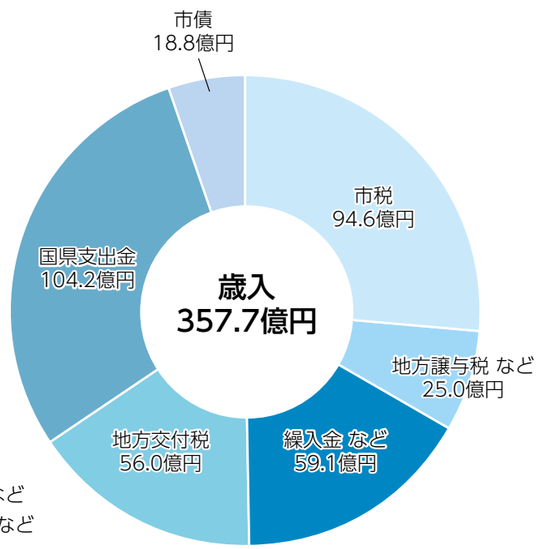
〈主な内容〉

●市税　（前年度比 6.6億円増）
雇用・所得環境が改善傾向にあったことや、地価の上昇・新築物件の増加など。
定額減税が実施されていたが、その影響が少なくなったため。

●市債　（前年度比 8.0億円増）
小中学校体育館の空調整備による借り入れなど。

〈主な歳入の説明〉

- 市税…… 市民税や固定資産税など
- 地方譲与税など… 国が徴収し、地方自治体に譲与するお金など
- 繰入金など…… 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
- 地方交付税…… 財政状況に応じ、国から交付されるお金
- 国県支出金…… 特定の事業のために国や県が交付するお金
- 市債…… 国や金融機関などから借り入れるお金



歳出

歳出全体としては343.3億円で、前年度に比べて24.5億円（7.7％）の増額となりました。

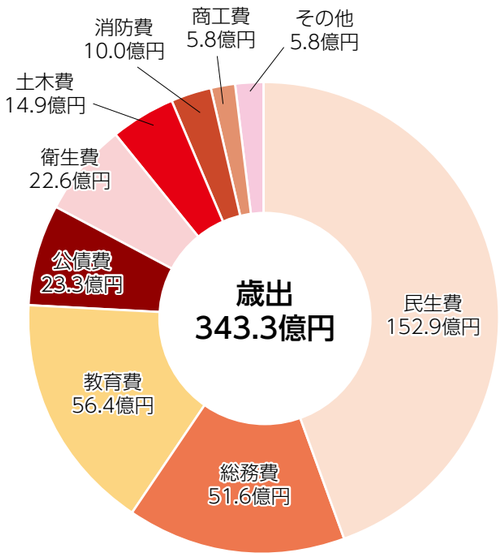
〈主な内容〉

●民生費　（前年度比 5.1億円増）
物価高対応子育て応援手当、児童手当拡充の通年実施など。

●教育費　（前年度比 14.0億円増）
小中学校体育館の空調整備、小中学校児童生徒のタブレット端末更新など。

〈主な歳出の説明〉

- 民生費…… 子どもや障がい者、高齢者などの福祉の費用
- 総務費…… 市の運営、戸籍、選挙など
- 教育費…… 小・中学校の運営、文化スポーツの振興
- 公債費…… 借入金の返済
- 衛生費…… 健康づくり、ごみ処理費用
- 土木費…… 道路や公園などの整備
- 消防費…… 防災費用
- 商工費…… 商工業の振興
- その他…… 議会・農林水産業など



ふるさと納税 編

ページID 1210

問い合わせ
経営企画課　企画政策係（☎内線512）

令和7年度は、本市を応援する全国の個人・企業の皆さんから、約18億4千万円の寄附をいただきました。

本市の魅力をより多くの人に届けるため、効果的なプロモーションの実施や競争力のある返礼品の拡充などさまざまな取り組みを行いました。

今後も、ふるさと納税を通じて本市の魅力を発信するとともに、返礼品のさらなる充実を進め、寄附額の増加につなげていきます。また、いただいた寄附は、貴重なまちづくりの財源として地域課題解決のために大切に活用していきます。



魅力ある返礼品の拡充



イベント出展時の様子

提供事業者を大募集！

楽天ふるさと納税サイトなどに掲載され、全国に商品をアピールできます。手数料や送料は市が負担。事業者の皆さんの負担を抑えながら売上アップ・地域活性化につながります。個別の相談は随時受付中。気軽に相談してください。

登録できるお礼品の例

- 市内生産の原材料を使った製品
- 市内で製造・加工・企画立案した食品、製品、雑貨
- 市内で提供されるサービス（宿泊券や旅行券、体験チケットなど）
- 辛子明太子、豚骨ラーメン、あまおう、もつ鍋、博多和牛、水炊きなど 16 品目の福岡県共通の返礼品

古都大宰府を彩る歴史と文化の環境税 編

問い合わせ　経営企画課　企画政策係（☎内線548）
税務課　歴史と文化の環境税推進係（☎内線380）

ページID 3045

本市固有の歴史的文化遺産と観光資源を保全・整備し、環境にやさしい「歴史とみどり豊かな文化のまち」を創造するために、市内の一時有料駐車場の利用者に課税しています。

令和7年度は約8,185万円の税収がありました。納税者・駐車場事業者の皆さん、理解と協力をありがとうございました。本税の趣旨に沿ったさまざまな事業へ活用しています。令和7年度は基金から約7,916万円を活用しました。

税収額の推移

年度	税収額
令和7	81,857,250円
令和6	74,933,650円
令和5	73,974,650円
令和4	63,281,150円
令和3	48,417,100円
令和2	51,312,600円
令和1	79,382,800円

一時有料駐車場への駐車1回につき、バイク50円、普通車100円、マイクロバス300円、大型バス500円を課税しています。

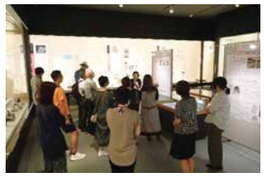
主な活用事業の例



特別史跡水城跡のコスモス



幹線道路周辺の美化



まるごと太宰府歴史展の開催



太宰府天満宮本殿の保存修理

このほかにも、観光パンフレットの作成や案内看板設置など多くの事業を行っています。

財政分析

次の各指標は、数値が低いほど健全であることを示します。すべての指標で健全でした。

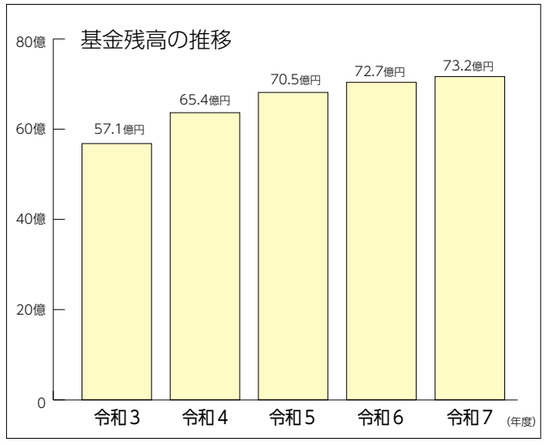
	本市		
実質赤字比率	黒　字	12.70%～	20%～
連結実質赤字比率	黒　字	17.70%～	30%～
実質公債費比率	2.1%	25%～	35%～
将来負担比率	負担なし	350%～	
資金不足比率	不足なし	20%～	

健全　黄信号　赤信号　悪化

●健全化法関係

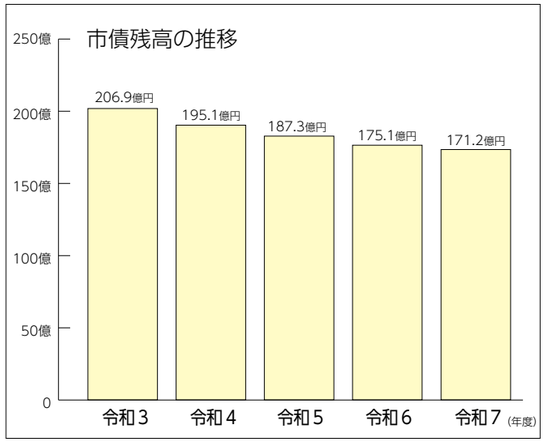
実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	地方公共団体の公債費の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの
将来負担比率	地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの
資金不足比率	公営企業における資金不足額（一般会計などの実質赤字に相当する額）の営業収益などに対する比率

基金（貯金）と市債（借金）



公共施設の改修などに活用した一方で、それ以上の金額を積立し、基金残高は73.2億円となっています。

貯めている理由は基金の目的によってさまざまですが、災害や公共施設の改修など将来に備えるために積立をしています。



新たな借入を上回る返済を続けているため、市債残高は減少傾向にあります。

後年度に交付税措置されるものが72%、償還に対し補助金などの交付があるものが10%を占めており、実質の負担割合は18%（29.8億円）となります。

◆ 人権・多様性の確保パッケージ

▶人権尊重のまちづくりの推進　713万円

・全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人が尊重され、いきいきと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを推進するため、市民講演会や人権擁護委員による人権相談などを実施。

基本目標 3　令和の都大だざいふ構想(圏域拡大戦略)

◆ 令和の都だざいふパッケージ

▶梅花の宴再現　246万円

・「大阪・関西万博」で開催された「令和の万葉大茶会2025飛鳥・万博大会」において「梅花の宴」を行い、元号令和の由縁となった本市を世界に発信。

▶特別史跡大宰府跡整備基本設計　4,738万円

・史跡環境の維持向上、史跡としての更なる発展を目指し、令和6年度に策定した特別史跡大宰府跡整備基本計画に基づき、整備基本設計を策定。

◆ 交流人口・関係人口による経済税収効果パッケージ

▶ユニバーサルツーリズムの推進　291万円

・すべての人が安心して観光を楽しめるよう、バリアフリー情報やユーザーに合ったルートなどが確認できる「ユニバーサル地図/ナビ」を導入。
・「観光施設における心のバリアフリー認定制度」取得に向けたセミナーの開催とアドバイザー派遣を実施。

◆ オーバーツーリズム対策パッケージ

▶オーバーツーリズム対策事業　1,673万円

・観光客が多数来訪する時期に、臨時駐車場・トイレの設置、交通誘導員を配置。
また、観光客などからのゴミ回収を積極的に行う参道周辺店舗に対するゴミ袋の配付や、参道周辺の清掃活動の開始など、参道周辺のゴミ回収体制を強化。


参道周辺での清掃活動

◆ 新しい公共の仕組みづくりパッケージ

▶公園・公民館・公共施設の再定義、多面的な利活用の検討　572万円

・公共施設等総合管理計画に基づき老朽化が進んでいる施設の調査や分析を行い、再編施設ごとの必要機能や効果などを検討・整理。

◆ 公共交通パッケージ

▶デマンド交通実証実験事業　4,312万円

・ＡＩオンデマンド交通によって、本市の課題を解決し、将来にわたって持続可能な公共交通体系の一翼を担うよう、地域・住民・来訪者の移動需要に応え、生活の質的維持・向上や地域活性化などに寄与する新たな交通サービスを提供。

基本目標 4　持続可能なだざいふ構想(行財政改革戦略)

◆ 闇バイト対策をはじめとした防犯力向上パッケージ

▶住宅等防犯対策事業　1,000万円

・闇バイトによる強盗事件などの犯罪から市民の生命財産を守るため、住宅などの防犯対策に要する費用を助成。

◆ 「日本一の猛暑のまち」対応パッケージ

▶地球温暖化対策の推進　3,649万円

・ゼロカーボンシティの実現に向け、戸建住宅用再生可能エネルギー発電等設備および次世代自動車の導入費用の助成を継続するとともに、高齢者世帯への省エネ対応エアコン購入費用の助成を実施。
・二酸化炭素排出量の削減および持続可能な行政運営のため、公用車として電気自動車を2台導入。


市内に設置された太陽光パネル

◆ 地震災害をはじめとした災害対応パッケージ

▶観光・参拝危機管理マニュアルの策定　286万円

・観光産業・観光客に甚大な影響を与える地震を含む災害リスクなどの観光危機への対応方針として「太宰府市観光危機管理マニュアル」を策定。

◆ 歳出入一体改革パッケージ

▶民間プール等を活用した水泳授業委託　3,783万円

・民間プールなどを活用した水泳授業を全小学校で実施。

▶学校プール跡地の有効活用　3,568万円

・太宰府小学校、水城小学校、学業院中学校について民間プールなどを活用した水泳授業委託の取り組みにより使用しなくなる屋外プールを解体することで、学校用地を有効活用。

お金の主な使い道 編

問い合わせ
経営企画課　企画政策係（☎内線535）

令和7年度は、第３期まち・ひと・しごと創生総合戦略（4つの基本目標）に基づき、次のような事業を行いました。

基本目標 1　だざいふの底力総発揮構想（成長戦略）

◆ 戦略的まちづくりパッケージ

▶課題解決先進モデルの実現　361万円

・市民の意見や評価などを把握するための市民意識調査および職員による先進地視察を実施。


ゆるバース

◆ 一体的情報発信パッケージ

▶シティプロモーションの推進　485万円

・西鉄福岡（天神）駅にて、デジタルサイネージを活用した観光情報などを発信。
・ゆるバース（旧ゆるキャラグランプリ）におとものタビットをエントリー、決選投票に出場し77位にランクイン。おとものタビットを通し、全国的に太宰府市を広めるシティプロモーションを実施。

◆ 地域経済活性化パッケージ

▶地域経済の発展・保護　12,844万円

・創業時の経費補助、地域課題解決を図る創業者への創業時の家賃補助を継続するとともに、物価高騰対策として、ＬＰガス消費者や運送事業者などへの補助、プレミアム付商品券の発行を実施。

基本目標 2　だざいふ型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

◆ 子どもまんなかパッケージ

▶小中学校屋内運動場空調設備整備事業　54,293万円

・児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、また、避難所としての環境改善を図るため、小学校6校および中学校3校の体育館に空調設備を整備。


小中学校屋内運動場空調設備

◆ 給食パッケージ

▶小・中学校給食費の助成　12,147万円

・子育て世代の負担を軽減し、子どもたちが安心して栄養バランスのとれた食事を摂ることができるよう、前年度に引き続き小・中学校給食費の３割を助成。

◆ 世界に羽ばたく人材育成パッケージ

▶九州国立博物館ツアーズ　180万円

・グローバルな視点をもった子どもを育成するため、九州国立博物館と連携し、市立小・中学校の児童生徒に九州国立博物館の特別展を観覧する機会を提供。

◆ ひきこもり・不登校等対策パッケージ

▶メタバースを活用した不登校支援事業　99万円

・メタバースを活用した新たな居場所を提供することにより、不登校児童生徒の自立を支援。

◆ 氷河期世代対策はじめ社会課題解決パッケージ

▶就職氷河期世代の職員採用（職員採用・育成の充実）　538万円

・就職氷河期世代を含めた雇用を促進するとともに包括的な対策を検討。

▶孤独・孤立対策の推進　269万円

・「ひきこもりサポート事業」にて、ひきこもり支援コーディネーターを配置し、相談などの受付を実施。
・ひきこもり当事者の居場所づくりを目的とした「フリースペース」、ひきこもり状態にある人をもつ家族親族による「家族のつどい」、ひきこもりに対する理解を深めるための「café de こもりびとだざいふ」を開催。

▶自殺対策事業　34万円

・精神科医と連携し、一人ひとりに寄り添った「こころの健康」に関する相談を実施。

◆ 高齢者等支援パッケージ

▶帯状疱疹予防接種事業　2,866万円

・健康で安心して暮らすことができるよう65歳以上の定期予防接種を開始。